

新社会

つくば

発行：新社会つくば

TEL 029-857-1154 FAX857-125

金子 かずお気付

kaneko@max.hi-ho.ne.jp

<http://kanekokazuo.hakurakuryo.org/>

2018年12月 18日第1102号



議会報告・一般質問から

新社会党つくば版では議会活動や市政の報告、地域との係わりなどを中心に報告しています。時には友人からのニュースや記事を紹介したりします。

議会の一般質問は質問・答弁を全文掲載していますので、質問者（金子かずお議員）の意図を把握した答弁になっているかなど、皆さんで判断してお読みください。（前号からの続き）

米の生産調整の農業政策は②

質問・金子かずお議員

農業再生協議会というのは、自治体や農業協同組合などでつくっているというようなことが文章では出てくる部分があるのですが、それはそういうことでよろしいのでしょうか。



答弁・経済部長

・・・今現在、市からも職員が出向しておりまして、そちらの運営は主にその市の職員が行っています。

質問・金子かずお議員

・・・47都道府県の間では、さまざまなやり方とか、手法といいますか、そういうのがまだ見えないということで、手探り状況ではないかという話も聞いておりますが、つくば市の場合は実際にどんなような状況になっていくのか、それがちょっと見えない部分もあります。部長にももしかしたら見えないのかもしれませんが、その辺は今までの経験からいくとどんなものなのでしょうね。

答弁・経済部長

・・・つくば市にとって、米は、大切な基幹産業、特につくば市を代表するものでございますので、中には、今は近代化、大規模農業ということで、生産調整には参加せずに大きくつくりたいという方もいらっしゃると思います。その反面、どうしても小規模農家、後継者不足、人手不足等でなかなか米をつくれな方もいらっしゃると思いますので、そういった方には、なるべく米をつくる手間のかからないような飼料米等の作づけ等を進めていくような方策を市としてはとっております。



答弁・金子かずお議員・・・そうすると、来年度はそんなに大きな変化が出てこないと理解してよろしいのですか。

答弁・経済部長・・・所得的には大きな変化はないものと考えております。

質問・金子かずお議員・・・そこで、私、一つ関心持ってきているのは、今、地域によっては、6次産業としてビジョンを持ってきているところが結構あるわけですがけれども、私は、昨年、東北の奥州市というところに視察に行きまして、6次化された事業が自分たちの基幹産業の農業と連携しながら、幾つか制度を出したりしながら、支援もしながらやっているという話がありました。これは、私、答弁を求めることは今回するつもりじゃなくて、こういう形で一生懸命頑張っているという事例の一つとして挙げさせていただきました。この次のときには、もうちょっと勉強して、つくばに合うのかどうかとか、そういうことを含めてお尋ねしていきたいと思いますが、今回は、そういう流れというのはつくば市としてどう考えるのかをお尋ねしたいと思います。

答弁・経済部長・・・6次産業、実はつくば市でもかなり取り組んでおりまして、去年は、つくばワイン・フルーツ酒特区なんかも取得しておりますので、そういったものも含めまして、今後、ますます6次産業化には取り組んでまいりたいと思っております。

つくば市議会に請願書が提出される

医療的ケアの支援とつくばに特別支援学校の新設を求める請願書が提出される。二つの請願書は金子議員が所属している文教福祉委員会に付託され17日に文教福祉委員会で審査されます。

文教福祉委員会に付託される

文教福祉委員会に付託された請願書は、「医療的ケア児等の家庭や関係先における発電機購入に対する助成に関する請願書」で請願事項は①医療的ケア児等を在宅で介護する家庭が、災害等による停電に備えて発電機を購入する際の購入費用の一部を助成してください。②重症心身障害児をにより主たる対象とする障害福祉サービス事業所が、災害時等による停電に備えて発電機を購入する際の購入費の一部助成について、茨城県へ要望してください。③福祉避難所に指定されている事業所が、要支援者の受け入れに備えて発電機を購入する歳の費用の一部を助成してください。

もう一件は、「つくば特別支援学校の過密状況を解消するために、つくば市内に特別支援学校の新設を求める請願書」であります。請願事項は、①つくば特別支援学校の過密状況を解消し、教育環境を改善するために、市内に特別支援学校を新設してください。②つくば市内の障害児の教育を充実させるために、特別支援学校を新設するよう茨城県及び茨城県教育委員会に働きかけてください。以上の2件です。